事業番号	09 06 01 事業改善シート (令和6年度実施)	事業分)	□当初要求	□当初予	算案 ■補正予算案 □点検
事業名	地籍を明確にする事業	部局	農政部	課·室	農地整備課
尹 未 石	心相で切住にする事未	実施期間	S27 ~	E-mail	nochi @ pref.nagano.lg.jp

# 1 現状と課題

- ・第7次国土調査事業十箇年計画(R2~R11)に基づき進めているが、令和4年度末の県の事業進捗率は、面積ベースで39%であり、全国の52%より遅れている。
- ・地籍調査事業は、東日本大震災後の迅速な復旧・復興に寄与したことから、その必要性や重要性が再認識され、事業の進捗を早めることが急務となっている。

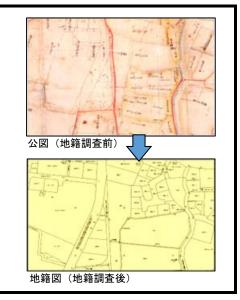
# 2 事業目的

土地の境界確定により、成果を国土の保全や土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化などに活用するため、地籍の明確化を進める。 第7次国土調査十箇年計画(R2~R11)目標面積187km²

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①市町村が行う地籍調査への補助

- ○土地の境界確定により地籍を明確化するための調査・測量を実施
- ・地籍調査では、一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査 並びに境界測量と面積計算を行い、地図及び簿冊を作成 (令和7年度当初予算で予定していた市町村のうち、3市村を前倒して実施)
- ※その他は当初予算のとおり



# 4 成果指標

(推移の凡例 /: 改善 >: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No	指標名	単位	R3年度	R4年	度	R5年	度	R6年度	達成	目標値設定理由		
INC	· 田保石	半位	実績	実績	推移	実績	推移	目標値	状況	日保他故足垤田		
1	実施市町村における調査面積	km²	21	31	7	38	7	47		令和6年度実施市町村の要望に基づく調査予定面積から 47km <sup>2</sup> (累計)を目標に設定		

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野(施策の総合的展開名)	達成目標 単位		直近3か年の状況					E	目標	
NO.	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(★印が付いているものは主要目標)	十四	年	数值	年	数值	年	数值	年	数值
1-2①	災害に強い県づくりの推進										

**6 事業コスト** (単位:千円、人)

_	O TAIN	<u> </u>		(-	12:113(7()				
Ī	区分								
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	R6年度	184,665	260,304	<u>57,715</u>	<u>57,715</u>	<u>502,684</u>	<u>168,468</u>		5.8
Ī	R5年度	64,988	316,840	52,235		434,063	145,430	230,991	5.8
	R4年度	42,375	262,508	79,475		384,358	129,161	319,234	5.8

事業番号	09 06 01	細事業一覧(令和6年度実施事	業分)	□当初要求	□当初予	算案 ■補正予算案 □点検
事業名	地籍を明	確にする事業	部局	農政部	課·室	農地整備課

細事業 No.	 	名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算					
1	地籍を明確にする事業			384,358 千円	,	予算現額     502,684       55今回 補正額     57,715       千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	· 容(予定) (上段	: : 事業概要、下段	::活動によるアウトプット)					
1	地籍調査事業	補助金	土地の境界確定により地籍を明確化するため、市町村が実施するに補助金を交付 (3市村について令和7年度事業を前倒して実施)							
			補助事業実施市町出地について、土性、			 の主要な自然的要素並				
2	土地分類基本調査事業	補助金	土地について、土性、土壌の物理的化学的性質、その他の主要な自然的要素 びにその生産力に関する調査を行い分類し、その結果を図面及び簿冊に作成 図面印刷 1件							